



保護者や学校関係者等から「小・中学校の普通教室にエアコンの設置を」という切実な声を聞いた森本市議は、井原市議会一般質問で度々提言してきましたが、いよいよエアコンの設置が始まりました。

今年度は、建て替えの計画がある井原中学校以外の4中学校に設置が進んでおり、竣功予定は、4校とも平成27年8月25日ですので、8月中には設置が完了します。各中学校の設置部屋数とエアコン設置台数等は下記のとおりです。

来年度も夏休み中に下記8小学校に設置するため、その準備段階として7月2日に空調設備整備工事実施設計業務委託されています。（写真は8月5日撮影）

●高屋中学校

23部屋に43台 工事費 約3,114万円
設置業者・・・株式会社 報国電設

●木之子中学校

23部屋に55台 工事費 約3,118万円
設置業者・・・株式会社 報国電設

●芳井中学校

20部屋に48台 工事費 約3,880万円
設置業者・・・株式会社 三備電業社

●美星中学校

19部屋に40台 工事費 約2,499万円
設置業者・・・株式会社 中電工



エアコンの設置作業中



廊下に並ぶエアコンの室外機

来年度の夏休み中に設置を予定している8小学校

高屋	大江	稲倉
県主	木之子	荏原
西江原	青野	

井原市政に対するご意見・ご要望をお寄せください

井原市議会平成27年9月定例会の開会予定日は9月7日（月）です。皆様の井原市政に対するご意見・ご要望をお近くの党員か下記の電話・FAXにお気軽にお寄せください。皆様のご意見・ご要望が1つでも多く実現するよう、引き続き奮闘したいと考えています。

日本共産党後援会事務所 TEL62-6200 FAX 62-6209
森本ふみお宅 TEL62-6061 FAX 62-6081

この「後援会ニュース」は、森本ふみお市議の
ブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見ることができます。

周りの人に「日本共産党森本ふみお後援会」への入会をお勧めください。

日本共産党はこう考えます

しんぶん赤旗
8月13日付
「主張」より

自衛隊の内部文書

国民と国会を欺く危険な暴走

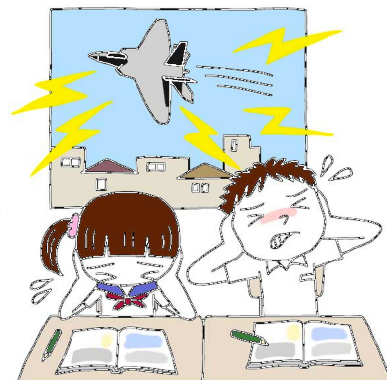
戦争法案が国会で審議されているさなかにもかかわらず、自衛隊が法案の成立を前提に、今後の海外派兵や日米共同訓練などの計画を詳細に検討していることを、日本共産党の小池晃副委員長（参院議員）が明らかにしました。国民多数の反対世論や国会での審議をないがしろにし、法案の施行をあらかじめ周到に準備しておこうとする、許し難い暴走に他なりません。「国民の意見に耳を傾け、法案審議でも丁寧な説明を心掛ける」などと繰り返す安倍晋三首相の言明が国民と国会を欺くものであることを浮き彫りにしています。

法案成立を既定事実

小池氏は11日の参院安保法制特別委員会で、陸・海・空自衛隊を束ねる統合幕僚監部が5月末に作成したとみられる内部文書を暴露しました。とりわけ小池氏が重大問題として指摘したのが、「ガイドライン及び平和安全法制関連法案を受けた今後の方向性」と題する、「取扱厳重注意」の文書です。

同文書には、日米両政府が4月末に合意した新たな「日米軍事協力の指針（ガイドライン）」と戦争法案の成立を既定事実にして、自衛隊の「今後の方向性」に関する「主要検討事項」が書かれています。戦争法案は5月26日の衆院本会議で審議入りしました。その前後にはすでに、自衛隊は法案の成立を前提に検討を進めていたこととなります。

小池氏の追及に、中谷防衛相は「法案の内容を十分に分析、研究しつつ、現場の（自衛）隊員にもよりよく理解してもらおう」ためなどと弁明しました。しかし、自衛隊が検討しているのは法案の成立を受けての「今後の方向性」であり、防衛相の言い訳は通用するものではありません。



検討されている中身そのものも、非常に重大です。

文書には、「今後の進め方」と題する日程表も付いています。5月末のところに「現時点」と書かれ、「最も早いパターン」として、8月に「法案成立」、来年2月に「法施行」が想定されています。

5月末時点では8月末に派遣期限が切れることになっていた南スーダンPKO（国連平和維持活動）について、12月に陸自中部方面隊から部隊（第9次隊）を派遣し、来年3月からは「新法制に基づく運用」を始めるというスケジュールまで書かれています。派遣される部隊には、戦争法に基づいて「（他国部隊との）宿営地での共同防衛」や「駆け付け警護」などの新たな任務が追加される可能性があるとし、その準備のための事前訓練の必要まで指摘しています。

文書が、新ガイドラインにさえ書かれていない、米軍と自衛隊の統合司令部である「軍軍間の調整所」が設置されるとしているのも重大です。小池氏が「自衛隊はいつから軍になったのか」と、その違憲性を批判したのは当然です。

安倍政権の責任は重大

小池氏の追及に中谷防衛相も「国会の審議中に法案の内容を先取りするようなことは控えなければならない」と述べざるを得ませんでした。自衛隊に「戦前の軍部の独走」と同じような行為を許してきた責任は、中谷防衛相はじめ安倍政権にあります。「戦争する国」づくりを加速する安倍政権下での自衛隊の暴走は、戦争法案の恐ろしさを改めて示すものです。戦争法案は廃案以外ありません。

ご意見・ご要望および情報をお気軽にお聞かせください。